

Public University Corporation MIYAGI UNIVERSITY

令和3年度入学

宮城大学入試ガイド

令和3年度入学者選抜日程の一部変更について (令和2年7月28日時点)

令和3年度入学者選抜については、文部科学省より令和2年6月19日に公表された「令和3年度大学入学者選抜実施要項」並びに公立大学協会より令和2年7月16日に公表された「公立大学の2021年度入学者選抜についての実施要領(再改訂)」を受け、当初「入学者選抜要項」、「入試ガイド」に記載していた選抜日程を変更することとなりましたので、ご確認願います。本書については、変更した箇所を赤字で記載しています。

なお、特別選抜(帰国子女入試、社会人入試、外国人留学生入試)について、現時点では、選抜日程、選抜方法等について、変更の予定はございません。

今後、令和3年度入学者選抜について、新型コロナウイルス感染症の影響により選抜方法や選抜日程に変更等が生じる場合は、速やかに本学ウェブサイトにて公表いたします。



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

Contents

総合型選抜

1. 選抜方法と日程	3
2. 総合型選抜はこんな方にオススメ！	4
3. 総合型選抜の概要	
(1) 出願書類	4
自己申告書(1 ページ目)	5
自己申告書(2 ページ目)	6
(2) 第 1 次選考	7
レクチャー①・レクチャーレポート	7
(3) 第 2 次選考	9
レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート	9
面接(口頭試問を含む。)	10

学校推薦型選抜

1. 選抜方法と日程	12
2. 学校推薦型選抜はこんな方にオススメ！	12
3. 入試科目「面接」の概要	12

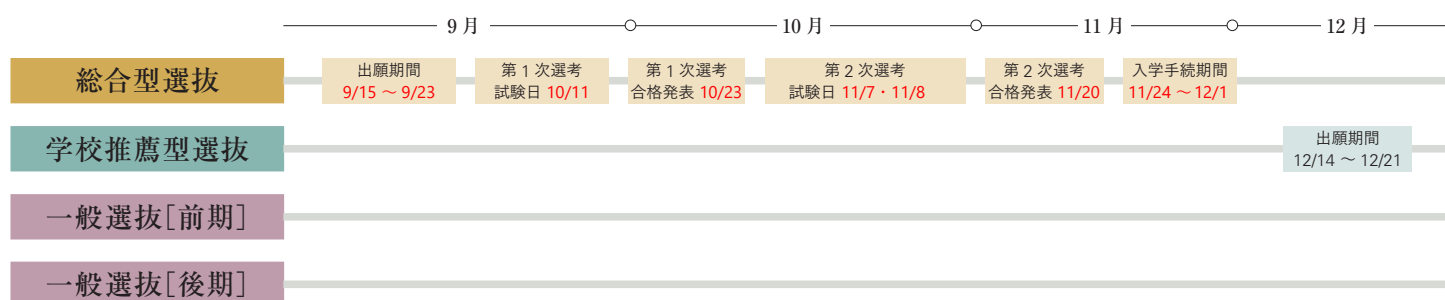
一般選抜[前期・後期]

1. 選抜方法と日程	13
2. 大学入学共通テストおよび個別学力検査の科目等	13
3. 入試科目「論説」の概要	15
4. 一般選抜における主体性等の評価	16

入学者選抜方法についての Q & A

令和 2 年度入学 入試結果	19
令和 2 年度出身校所在地別志願者数・入学者数	19

Schedule 令和 3 年度入学 入試スケジュール



令和3年度入学 宮城大学入学者選抜方法

新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、令和3年度入学者選抜については、選抜方法や選抜日程の変更等の可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。なお、選抜方法や選抜日程に変更等が生じる場合は、速やかに本学ウェブサイトにて公表いたします。 <https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/>

学類単位の入試

総合型選抜 (P.3 参照)

入試科目

各学類	第1次選考		1. レクチャー① 2. レクチャーレポート		3. 提出書類
	第2次選考		1日目	1. レクチャー②	2. グループワーク 3. ふりかえりレポート
			2日目	4. 面接(口頭試問を含む。)	

- レクチャー①、レクチャーレポート、提出書類による第1次選考を行い、合格者に対して第2次選考を行います。第2次選考では2日間の試験を通して、「課題を設定し、見直し、解決し、振り返る力」を評価します。
- 高等学校長からの推薦は要しませんので、どなたでも出願できます。
- 本学が指定する大学入学共通テスト科目を受験していただき、入学手続後に自己採点のスコアを提出していただきます。
- 本学の一般選抜や学校推薦型選抜との併願ができます。

入学時に決定した学類のまま、2年次に進むことができます。

原則として、途中で学類を変更することはできません。

※このほか、外国人留学生入試を実施します。

学群単位の入試

学校推薦型選抜 (P.12 参照)

入試科目

各学群	大学入学共通テスト	面接
-----	-----------	----

- 大学入学共通テストの受験を課し、合計点を総合判定の一部として利用します。
- 本学の一般選抜や総合型選抜との併願ができます。

2年次進級時に、学類配属を決定します。

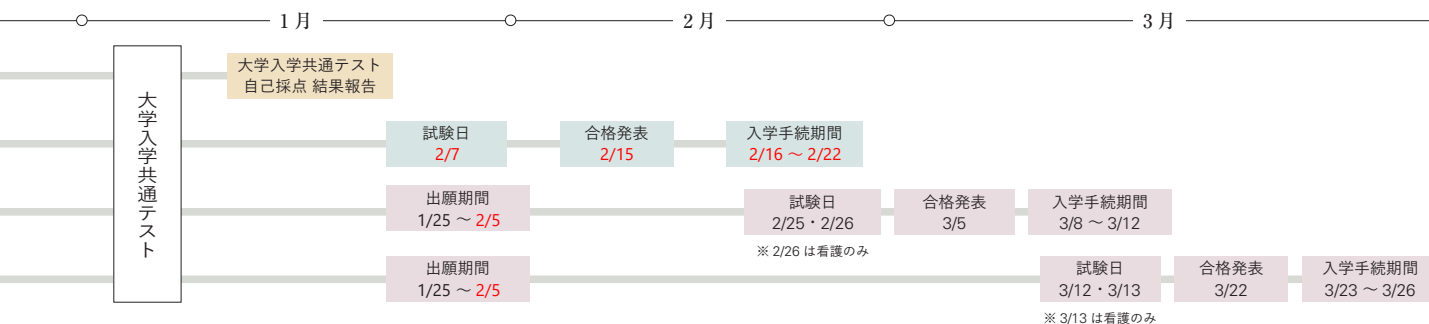
※看護学群は1学類のため、全員が看護学類で学ぶことになります。

一般選抜[前期・後期] (P.13 参照)

入試科目

看護学群 事業構想学群 食産業学群	大学入学共通テスト	個別学力検査		
		外国語	論説	面接
		外国語	論説	数学
		外国語	理科	数学

※このほか、社会人・帰国子女入試を実施します。



総合型選抜

1 選抜方法と日程

募集人員

看護学群：看護学類 8 名

事業構想学群：事業プランニング学類 8 名 / 地域創生学類 8 名 / 価値創造デザイン学類 8 名

食産業学群：食資源開発学類 8 名 / フードマネジメント学類 8 名

大学入学共通テストの受験が必要です。

大学入学共通テストの出願期間については、大学入試センターが発表する実施要項を確認してください。

出願期間

令和 2 年 9 月 15 日 (火) ～令和 2 年 9 月 23 日 (水) 【期間内必着】

第 1 次選考

令和 2 年 10 月 11 日 (日)

第 1 次選考では、次の活動と出願書類により選考を行います。

レクチャー①

講師によるレクチャー（あるテーマについて、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う）を受講する。

レクチャーレポート

レクチャー①の内容に関するレポート（設問形式）を作成する。

自己申告書

〈出願時に受験者が作成〉

自己を推薦する文章および学修計画に関する文章を作成する。

調査書

〈出願時に出身高校等で作成〉

高校等での学業成績や活動の記録・評価等を記載する。

第 1 次選考 合格発表

令和 2 年 10 月 23 日 (金)

第 2 次選考

第 2 次選考では、第 1 次選考に合格した方に対して、2 日間の活動を通じた選考を行います。

1 日目〈令和 2 年 11 月 7 日 (土)〉

レクチャー②

講師によるレクチャー（レクチャー①のテーマを踏まえた内容について、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う）を受講する。

グループワーク

レクチャー②に関するテーマについて、少人数のグループで議論を行う。

ふりかえりレポート

一連の過程を振り返り、自身の思考の変化や深まりをレポートにまとめる。

2 日目〈令和 2 年 11 月 8 日 (日)〉

面接

（口頭試問を含む。）

高校までの基礎的な学習成果を問う口頭試問、志望する学類への意欲や資質を問う面接を行う。

※令和 3 年度入学者選抜の口頭試問では、「数学」と「英語」に関する基礎的な内容の口頭試問を実施します。

第 2 次選考 合格発表

令和 2 年 11 月 20 日 (金)

入学手続き後

本学入学後の指導の参考とするため、令和 3 年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する科目を受験し、自己採点結果を報告していただきます。

2 総合型選抜はこんな方にオススメ！

- ・大学で学びたいことや、進みたい学類が決まっている方
- ・学類での学修に対する強い意欲や高い資質のある方
- ・高等学校までの総合的な学習の時間等で問題解決型の活動に意欲的に取り組んできた方

3 総合型選抜の概要

重視する「高校等での学習」の成果

総合的な学習の時間や各教科等での、①問題解決型の活動が発展的に繰り返される探究学習、②互いの考えを伝え合い、自身の考えを発展させる等、他者と協働して課題を解決する学習、③自ら得た情報を分析・評価し、まとめ、表現する学習等
例：総合的な学習の時間での探究活動・協働的な学習・言語活動、SSH での科学的探究活動、SGH でのグローバル探究学習、専門高校でのプロジェクト学習等

総合型選抜で評価する資質や能力

これまでの学習に基づく学力の基盤や、高校等での探究的活動に裏付けされた課題発見・解決能力に加えて、自身の興味や関心に基づいた、学類での学修に対する強い意欲や高い資質

(1) 出願書類

自己申告書は受験者本人が作成したものを、調査書は高校等で作成されたものを提出してください。

①自己申告書 (1 ページ目)

自己申告書 (1 ページ目) の内容	これまで (主に高校等) の学習成果やそのことによって得た自身の強みについて、事実に基づいて示し、自己を推薦する文章を作成する。 ※ P.5 参照
「高校等での学習」の成果として重視する点	高校等での学びの実践を通して、主体的に学び考え、自ら課題を設定し、興味や関心を追究する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	これまでの学習や活動の実績に裏付けられた自身の強みについて、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。

②自己申告書 (2 ページ目)

自己申告書 (2 ページ目) の内容	志望する学類への興味や関心をもとに、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいか、自身の学びの展望を提示し、学修計画を立てる。 ※ P.6 参照
「高校等での学習」の成果として重視する点	見通しをもって、自身の興味や関心をよく整理した上で、入学後の目標を設定し、その実現に向けた道筋を計画する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	自ら志望する学類への興味や関心をもとに、志望する専門分野の学問的意義や社会的位置付けに関連させながら志望する学群・学類を卒業した後の目標を設定し、その実現に向けた自身の展望を、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。

③調査書

評価する資質や能力	・高校等での学業成績 (評定平均値を含む。) 等の観点からみた学力の基盤。 ・調査書における「指導上参考となる諸事項」および「総合的な学習の時間の内容・評価」やその他の記載事項からみた学習内容 等 ※総合的な学習の時間を履修しなかった者 (研究開発学校、専門学科) については、総合的な学習の時間に代わる活動の内容・評価を記した副申書をもって代えることができる。
-----------	---

自己申告書（1 ページ目）

これまでの学習成果やそのことによって得た自身の強みを PR する

作成にあたって

- ・学習成果とは、各教科の学習（総合的な学習の時間を含む。）、ホームルーム活動、生徒会活動および学校行事での成果のことを指します。課外の部活動や学外活動（ボランティア活動等）について述べる場合も、各教科の学習（総合的な学習の時間を含む。）やホームルーム活動、生徒会活動および学校行事と関連づけて書いてください。
- ・学習成果は、「～を経験した」「～ができた」「～の成果を残した」という事実や結果の列挙だけではなく、そこに至るまでの過程や、どのように考えて活動したか、また、それらを通して自分が何を学んだか等を具体的に書いてください。
- ・高等学校等での学習（例えば探究学習等）を通して得た「これだけは誰にも負けない」という自分の強みについて書いてください。
- ・他人の言葉や書籍・インターネットから引用するのではなく、自分の経験を踏まえ、自分の言葉で書いてください。

令和3年度入学 宮城大学 総合型選抜

自己申告書

※受験番号

志望学群・学期	学群	学類
フリガナ		
氏名	性別	男 女
	生年月日	平成 年 月 日

①あなたのこれまでの学習成果や、それによって得られた自分の強みについて、主体的に取り組み実践した過程を根拠に示しながら説明してください。その上で、文章に表題もつけてください。

表題

※ 受験番号を除き、必要事項すべてを記入し、又は該当項目に○印を付してください。 (1/2ページ)

①あなたのこれまでの学習成果や、それによって得られた自分の強みについて、主体的に取り組み実践した過程を根拠に示しながら説明してください。その上で、文章に表題もつけてください。

自己を推薦する文章に表題をつけ、記入してください。

- ・枠内でのみ作成してください。
- ・手書きの文章のみ可。ワープロの使用、図や写真の挿入は不可とします。
- ・資料（賞状の写し、新聞記事、論文、CD等）の添付は認めません。

作成のポイント

- ・これまでの学習のなかで、課題を自分で見つけて、それを解決するための活動や情報収集を行った経験があれば、その過程を具体的に記載しよう。
- ・その結果、どのようなことが得られたのか、学習と得られたこととのつながりがわかるように記載しよう。
- ・学習の過程で、新しい気づきがあったか、自分の強みは何か、振り返って考えてみよう。自分を分析してみることが大切！
- ・ほかの人にはない自分の特徴をアピールしよう。

自己申告書（2 ページ目）

入学後の学びの展望を示す

作成にあたって

- ・単に「～を学びたい」「～をしたい」ということを書くのではなく、なぜその分野に興味を持ったのか、興味を持ったことに対してこれまでにどのような活動をしたのか等を具体的に書いた上で、入学後の学修に対する自らの展望を説明してください。
- ・志望する学群・学類が持つ学問的意義や社会的位置付けを明確にしなが、志望分野への強い意欲や、自ら積極的に学ぼうとする姿勢等を、自分の言葉で書いてください。
- ・大学での4年間の学びにとどまらず、大学卒業後の自分の将来の姿をイメージし、関連させなが書いてください。

[illegible]

②あなたが、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために、「何を」「どのように」学びたいのかを計画し、文章で書いてください。

- ・ 枠内でのみ作成してください。
- ・ 手書きの文章のみ可。ワープロの使用、図や写真の挿入は不可とします。
- ・ 資料（賞状の写し、新聞記事、論文、ＣＤ等）の添付は認めません。

作成のポイント

- ・志望する分野に興味を持ったきっかけや理由を具体的に記載しよう。
- ・志望する分野に関連することについて、自分で活動したり、調べたりしたことがあれば、必ず記載しよう。
- ・大学での学びへの熱い思いを記載しよう。将来の「夢」だけではなく、入学後にいつ、何を、どのように学んでいくのかなど、できるだけ具体的に「計画」を立ててみよう。
- ・大学での学びは、社会ではどんな意味があるのか、調べてみよう。ウェブサイトでは研究内容の紹介もしているので、興味のある分野を覗いてみることもおすすめ！

(2) 第1次選考

第1次選考では、以下の活動（レクチャー①、レクチャーレポート）を評価した成績に加えて、自己申告書、調査書の内容を総合的に判定して選抜を行います。

試験科目	内 容	評 価
レクチャー① (50 分)	講師によるレクチャー①を受講します。	レクチャーレポートを対象とします。
レクチャーレポート (80 分)	レクチャー①の内容に関するレポートを作成します。	

レクチャー①・レクチャーレポート

レクチャー①・レクチャーレポートの内容	レクチャー①（あるテーマについて、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う。）を受講し、その後、レクチャー①の内容に関するレポート（設問形式）を作成する。
「高等学校での学習」の成果として重視する点	聴講活動を通して、課題意識をもち、得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、自身が探究すべき課題を設定し、高校等での学習や自身の経験をレクチャー①の内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。

【参考】昨年のレクチャー・レクチャーレポートの内容例（実際のものとは表現は少し異なります。）

〈レクチャー概要〉

普段何気なく利用している我々の生活に欠かすことのできない多様な財・サービス、なかでも公的に提供される公共財の意義や役割に注目し、地方自治体が運営する「ゆるキャラ」が公共財として担う役割や課題についてのレクチャーを行った。まず、ゆるキャラが各地方自治体により運営されるようになった背景や、民間企業運営のキャラクターとは異なる役割を担っている点について検討した。次に、ゆるキャラが担ってきた役割が現在でも十分に果たしているのか検討し、仮に、廃止・中止を考慮する場合にはどのような観点に注目することで判断をするのか、その判断材料となる一つの可能性を取り上げ紹介した。また、廃止・中止とする場合には、これまでゆるキャラが担ってきた役割がもう不要となったのか、まだ必要であるならばどのようにその役割を担う代替財を提供するのか等の今後の課題についても考える必要があることを確認した。

〈レクチャー資料〉

- 図表 1 公共財の考え方
- 図表 2 「ご当地キャラクター」の有無と運営主体
- 図表 3 地方自治体によるゆるキャラ作成目的
- 図表 4 金沢市に住む学生の金沢市の企業への就職意向と愛着・親しみの関係
- 図表 5 ゆるキャラの認知と地域への愛着
- 図表 6 ゆるキャラを知ってもらう／興味をもってもらうための取組（複数回答）
- 図表 7 ゆるキャラに関わる予算
- 図表 8 地方自治体の取組に対する自己評価
- 図表 9 地方自治体の今後の活動方針
- 図表 10 地方自治体の活動の課題（複数回答）
- 図表 11 住民のゆるキャラへの印象
- 図表 12 地方自治体がゆるキャラを活用することへの賛否
- 図表 13 ゆるキャラ活用における住民の地方自治体への要望（複数回答）
- 図表 14 ゆるキャラグランプリにおけるキャラクターのエントリー数および投票数
- 図表 15 経済活動における諸費用の変化

〈レクチャーレポート設問〉

問1 以下は、図表5をめぐるAさんとBさんの会話である。

A：図表5を見ると、地元のゆるキャラを知っているほど、地元で愛着を感じる人が多いみたいだね。地元のゆるキャラを知ると地元で愛着を感じるようになるんだね。ゆるキャラは地元愛のために欠かせないね。

B：そうかな。Aさんのように言い切ることができないのではないかな。なぜならば、(①)。

A：では、図表5からは他にどんなことが読み取れるのかな。

B：例えば、図表5が示しているのは(②)。

(1) Bさんになったつもりで、①に入れるのに適切な、Aさんへの説明を記載しなさい。

(2) Bさんになったつもりで、②に入れるのに適切な、図表5から読み取れることを記載しなさい。

⇒ねらい：レクチャーの内容の理解力および資料を関連付けて論理的に状況を判断・考察することができるかの論理的思考力をみる。

問2 レクチャーの内容をもとに、地方自治体がゆるキャラを活用することの経済的合理性を考えたい。

レクチャーで示したように、活動運営費用は活動人数の増加や会場使用料等の拡大などのため、活動回数が増えるにしたがって加速度的に増加するとし、そのため、活動運営費用は、活動回数の二次関数として表すことができると仮定する。

ゆるキャラの活動回数を x 、 x 回までの活動運営費用を y (万円)とし、1回目の活動運営費用を a (万円)とすると、 x と y との間には以下の式が成り立つものと仮定する。

$$y = ax^2 \quad (a > 0)$$

また、デザイン開発や着ぐるみ作製費等、ゆるキャラにかかる初期費用を b (万円)とする。

経済的合理性を判断するために、総費用を活動回数で割った平均費用について考察する。

(1) 平均費用を z としたとき、 z を x 、 a 、 b を用いて表しなさい。

(2) 地方自治体が初期費用に60万円、1回目の活動運営費用を4万円とする。この条件のもと、活動回数1回目から10回目までについて、平均費用のグラフを解答用紙に描きなさい。グラフの作成にあたっては、小数第一位まで計算(小数第二位を四捨五入)し、各回の平均費用の数値を記載すること。あわせて、縦軸の数値は各自で設定すること。

(3) (2)の条件のもと、ゆるキャラの活動1回あたりに、グッズ販売等により35万円の売上が得られると仮定する。地方自治体がゆるキャラを活用する際、何回から何回までが経済的に合理的であるだろうか。理由を含めて説明しなさい。

⇒ねらい：レクチャーで与えられた知見を応用し、与えられた条件・数値を反映して適切に数値的分析処理をする力をみる。

問3 ゆるキャラブームが一段落した現段階において、地方自治体は岐路に立っている。

(1) 今後、地方自治体は、ゆるキャラを存続させるべきか、それとも、廃止すべきか。どちらにすべきか、あなたの判断を示し、現在、ゆるキャラが担っている機能を考慮しながら、その判断の理由を記述しなさい。解答の作成にあたっては、配付資料を含むレクチャーの内容や高等学校での学習を踏まえること。

(2) (1)で示した自らの判断(ゆるキャラの存続または廃止)を実現するとき、もっとも重要な課題と、その対応策はいかなるものが考えられるか、具体的に述べなさい。

⇒ねらい：今後ゆるキャラを存続させるべきか中止・廃止すべきかの判断を、感情的ではなく論理的かつ説得力をもって判断できるか、またその自身の判断を根拠を示しながら論述する力があるかをみる。

レクチャー①・レクチャーレポート・レクチャー②のポイント

- ・レクチャー①・②で説明される内容を、理解しながらしっかりメモしておこう。
- ・レクチャー①・②やレクチャーレポートでは、グラフや表が多く出てきます。グラフや表からどんなことが読み取れるのか、普段から考える癖をつけておこう。
- ・読み取った内容を文章で適切に表現できるようにしておこう。

(3) 第2次選考

第1次選考に合格した方に対して、2日間の活動を行い、2日間の活動を評価した成績および自己申告書、調査書等の出願書類の内容を総合的に判定して選抜を行います。

選抜日程	試験科目	内 容	評 価
1 日目	レクチャー② (50 分)	講師によるレクチャー②を受講します。 レクチャー②の内容は、レクチャー①のテーマを踏まえ、多様な視点等を加えて発展させたものを予定しています。	主としてふりかえりレポートを対象とします。
	グループワーク (60 分)	レクチャー②に関連するテーマについて、少人数のグループで議論を行います。	
	ふりかえりレポート (80 分)	レクチャー②から一連の過程を振り返り、レポートを作成します。	
2 日目	面接 (口頭試問を含む。)(25 分)	高校までの基礎的な学習成果を問う口頭試問および志望する学類への意欲や資質を問う面接を受けます。 1人あたり25分間の面接を行います。内訳は以下のとおりです。 ・口頭試問 (約 15 分) ・面接 (約 10 分)	口頭試問を重視します。

レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート

レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポートの内容	レクチャー② (レクチャー①のテーマを踏まえた内容について、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う。)を受講し、その後、レクチャー②に関連するテーマについて、少人数のグループで議論 (グループワーク) を行う。グループワーク終了後、レクチャー②から一連の過程を振り返り、自身の思考の変化や深まりをレポートにまとめる。
「高校等での学習」の成果として重視する点	他者と協働して課題を解決することができる力や、課題解決に至るまでのプロセスの中で、自身の思考の変化や深まりに気づく力が身についている。
評価する資質や能力	自身の考えを他者と共有し、進んでグループに貢献する力や、他者の意見や問題提起等を受け、さまざまな意見を比較しながら、自身の思考を展開する力。さらに、自身の思考の展開について、根拠を示しながら、筋道を立てて説得力のある論述ができる力。

昨年のグループワーク・ふりかえりレポートの内容例

〈グループワークテーマ〉

今後、地方自治体は、ゆるキャラを存続させるべきか、それとも、廃止すべきか。議論の上、グループの立場をどちらか一方に決定しなさい。その後、その決定に対する反対の立場を想定し、グループの決定の正当性を主張するための根拠について議論しなさい。その際、グループの決定を実施するにあたっての課題と、その対応策について考慮すること。

〈ふりかえりレポート設問〉

問1 グループワークでの議論を踏まえた上で、グループワークを行う前と後であなたの考えがどのように変化したかを示しながら、地方自治体がゆるキャラを存続させるべきか、または廃止すべきか、現時点でのあなたの考えを述べなさい。

⇒ねらい：グループワークでの議論を踏まえた上での自らの意見の展開を論述する力をみる。

問2 問1で示した自らの判断 (ゆるキャラの存続または廃止) を実現するとき、もっとも重要な課題と、その対応策はいかなるものであるか。グループワークでの議論を踏まえた上で、グループワークを行う前と後であなたの考えがどのように変化したかを示しながら、具体的に述べなさい。

⇒ねらい：論理的に思考を展開して想像力を発揮することができるか、また、その課題を克服するために更に深い思考を展開することができるか、他者と考えを共有するための表現力があるかをみる。

グループワーク・ふりかえりレポートのポイント

- ・グループワークでは、自分以外の受験者の意見を聴いて、納得したり、ここが自分の考えとは違うなと感じたりしながら、自分の考えをできるだけ深めるようにしよう。議論に積極的に参加することが、自分の考えの整理にも役立ちます。
- ・ふりかえりレポートでは、グループワークで議論したことを踏まえて、自分の考え方がどのように広がったり、変化したり、確かなものになったか、文章で表現しよう。

面接（口頭試問を含む。）

面接（口頭試問を含む。）の内容	基礎的な学習成果に基づく口頭試問、志望する学類での学修に対する意欲や資質を問う面接を行う。 ※令和3年度入学選抜の口頭試問では、「数学」と「英語」に関する基礎的な内容の口頭試問を実施します。
「高校等での学習」の成果として重視する点	自身の興味や関心を整理し、入学後の学修を見通す力や態度が身についている。
評価する資質や能力	高等学校までの基礎的な学習成果および高等学校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質。

口頭試問 サンプル問題

このサンプル問題は、総合型選抜に向けて、宮城大学にて作成したものです。

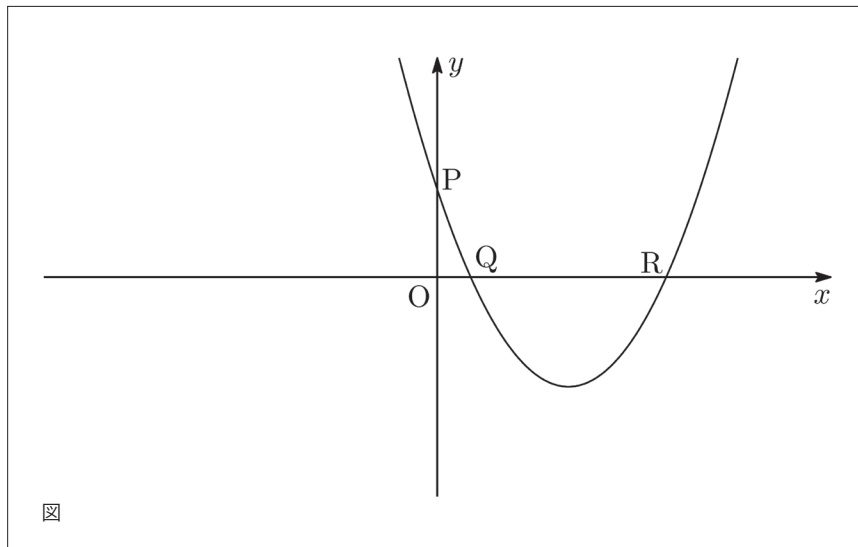
以下は、あくまでも例示であり、出題される科目の順番や、単元等を限定するものではありませんので、予めご了承ください。

資料の提示、口頭試問等を含めて、「数学」と「英語」をあわせて、約15分でのやり取りを想定しています。

〈数学〉

【提示資料】

実数 a, b, c に対して、2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフが図のようになるとき、次の問題に答えてください。ただし、点 P, Q, R はグラフと x 軸、 y 軸との交点です。



図

【口頭試問内容】

- ① a, b, c のそれぞれに対して、正であるか、負であるか、答えてください。
- ② b と c の値をこのまま変えずに、 a の値だけを大きくします。
このとき、グラフの形はどのように変化するか答えてください。
- ③ a と c の値をこのまま変えずに、 b の値だけを大きくします。
このとき、このグラフの軸は左右どちらに移動するか答えてください。
- ④ 前問と同様に a と c の値は変えませんが、 b の値を大小自由に変化させます。
このとき、どのような b の値に対しても、グラフが常に通る点があれば、すべて述べてください。

〈英語〉

【提示資料】

次の英文を読んで、質問に答えてもらいます。では、合図があるまで2分間黙読してください。

Tom and Mari planned to go to the library to do some research. As it was convenient to go there by train, they checked the train schedule. It was 2:30 then. The next train was in ten minutes, but there was another one at 3:10. They had a choice, either to catch the very next train, () the train at 3:10. They thought that if they hurried they could catch the earlier one. They soon left for the station and caught it just in time.

【口頭試問内容】

問1 下線が引いてある語の意味に最も近い語を選び、記号で答えてください。

- ア) secret
- イ) concentrate
- ウ) abandon
- エ) fitting

問2 ()に入れるのに最も適切な語を選び、記号で答えてください。

- ア) or
- イ) to
- ウ) and
- エ) on

問3 次の英語による問の答えとして最も適切なものを選び、記号で答えてください。

Which train did they catch?

- ア) 2:30
- イ) 2:40
- ウ) 3:01
- エ) 3:10

問4 問3の答えを選んだ理由を日本語で説明してください。

問5 この文に付けるタイトルとして最も適切なものを選び、記号で答えてください。

- ア) Which train catch
- イ) Which train to catch
- ウ) Train to which catch
- エ) Train which catch to

学校推薦型選抜

1 選抜方法と日程

募集人員

看護学群：24名
事業構想学群：40名
食産業学群：28名

出願資格

令和3年度大学入学共通テストのうち指定する教科・科目をすべて受験し、次の(1)から(4)までのすべてに該当する方
(1) 高等学校または中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの方
(2) 志望する学群に対し、熱意と適性を有する方で、高等学校または中等教育学校の長が責任を持って推薦できる方
(3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる方
(4) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の方で、人物、学力とも特に優秀である方

推薦人数の概要

看護学群
推薦できる人数は、宮城県内の高等学校または中等教育学校から1校あたり2人まで、宮城県外の高等学校また中等教育学校から1校あたり1人とします。

事業構想学群・食産業学群
推薦できる人数は、宮城県内の高等学校または中等教育学校からは1校あたり各学群4人まで、宮城県外の高等学校または中等教育学校からは1校あたり各学群2人までとします。

※詳細は令和3年度入学 入学者選抜要項を確認してください。

出願期間

令和2年12月14日(月)～令和2年12月21日(月) 【期間内必着】

令和3年度
大学入学
共通テスト

〈大学入学共通テストの利用教科・科目〉

教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	合計
配点	200	100	100	200	250	850

■国語：「国語」

■地理歴史・公民：「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1

■理科：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2または「物理」「化学」「生物」「地学」から1

■数学：「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」から1かつ「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1

■外国語：「英語（リーディング・リスニング）」

※大学入学共通テスト「外国語（英語）」における配点について、リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。
※大学入学共通テスト「外国語（英語）」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を250点満点に換算して採用します。

選抜期日

面接実施日：令和3年2月7日(日)

選抜方法

大学入学共通テストの合計点，調査書，推薦書，自己申告書等の出願書類の内容及び面接の成績を総合的に判定します。

合格発表

令和3年2月15日(月)

2 学校推薦型選抜はこんな方にオススメ！

- ・リーダーシップを発揮し、率先して様々な活動に取り組める方
- ・大学に入学してから、自分の進みたい道(学類)を決めたい方
- ・高校までの、偏りなく幅広く、継続した学習の成果が身についている方

3 入試科目「面接」の概要

評価する資質や能力

高校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質。

一般選抜[前期・後期]

1 選抜方法と日程

募集人員	看護学群：前期 48 名 / 後期 10 名
	事業構想学群：前期 100 名 / 後期 20 名
	食産業学群：前期 62 名 / 後期 12 名

出願期間 令和 3 年 1 月 25 日 (月)～令和 3 年 2 月 5 日 (金) 【最終日消印有効】

個別学力検査	前期：令和 3 年 2 月 25 日 (木) 後期：令和 3 年 3 月 12 日 (金)
	看護学群：外国語 (英語), 論説
	事業構想学群：外国語 (英語), 論説, 数学
	食産業学群：外国語 (英語), 理科, 数学
	前期：令和 3 年 2 月 26 日 (金) 後期：令和 3 年 3 月 13 日 (土)
	看護学群：面接

合格発表 前期：令和 3 年 3 月 5 日 (金) 後期：令和 3 年 3 月 22 日 (月)

2 大学入学共通テストおよび個別学力検査の科目等

看護学群 一般選抜(前期日程・後期日程) 共通

大学入学共通テストの利用教科・科目等		個別学力検査
教科	科目	「外国語」 「論説」 「面接」
国語	「国語」	
地理歴史 公民	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から 2 かつ「物理」「化学」「生物」から 1 または「物理」「化学」「生物」から 2	
数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」から 1 かつ「数学 II」「数学 II・数学 B」から 1	
外国語	「英語 (リーディング, リスニング)」	
5 教科 7 科目または 5 教科 8 科目		

大学入学共通テスト 選択科目数					大学入学共通テスト 理科の選択方法	
国語	地歴公民	理科	数学	外国語	①	②
1	1	2 または 3	2	1		

大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項

- 地歴において、「世界史 A」、「日本史 A」、「地理 A」は選択できません。
- 理科において、「地学基礎」、「地学」は選択できません。
- 理科の選択方法について、① (理科基礎あり 2 科目と理科基礎なし 1 科目の選択) の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。
- 「外国語 (英語)」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算して採用します。

事業構想学群 一般選抜(前期日程・後期日程) 共通

大学入学共通テストの利用教科・科目等					個別学力検査
教科	科目				「外国語」 「論説」 「数学」
国語	「国語」				
地理歴史 公民	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」		地理歴史・公民 から 1 または 2	地理歴史・公民・ 理科から 3 または 4	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から 0 または 2 かつ「物理」「化学」「生物」「地学」から 0, 1 または 2				
数学	「数学Ⅰ・数学 A」かつ「数学Ⅱ・数学 B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から 1				
外国語	「英語（リーディング, リスニング）」				
5 教科 7 科目, 5 教科 8 科目, 6 教科 7 科目または 6 教科 8 科目					

大学入学共通テスト 選択科目数				
国語	地歴公民	理科	数学	外国語
1	3 または 4	2	1	

大学入学共通テスト 地歴公民と理科の選択方法				
①	②	③	④	
地歴公民 地歴公民 理科基礎 理科基礎	地歴公民 地歴公民 理科	地歴公民 理科基礎 理科基礎 理科	地歴公民 理科 理科	

大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項

- 地歴において、「世界史 A」「日本史 A」「地理 A」は選択できません。
- ①または②(地歴公民から 2 科目選択)の場合、公民からの 2 科目選択はできません。
- 理科の選択方法について、③(理科基礎あり 2 科目と理科基礎なし 1 科目の選択)の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。
- 「外国語(英語)」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算して採用します。

食産業学群 一般選抜(前期日程・後期日程) 共通

大学入学共通テストの利用教科・科目等					個別学力検査
教科	科目				「外国語」 「理科」※ 「数学」
国語	「国語」				
地理歴史 公民	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」		地理歴史・公民 から 1 または 2		
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から 0 または 2 かつ「物理」「化学」「生物」から 0, 1 または 2		地理歴史・公民・ 理科から 3 または 4		
数学	「数学Ⅰ・数学 A」および「数学Ⅱ・数学 B」				
外国語	「英語（リーディング, リスニング）」				
5 教科 7 科目, 5 教科 8 科目, 6 教科 7 科目または 6 教科 8 科目					

大学入学共通テスト 選択科目数				
国語	地歴公民	理科	数学	外国語
1	3 または 4	2	2	1

大学入学共通テスト 地歴公民と理科の選択方法			
①	②	③	④
地歴公民 地歴公民 理科基礎 理科基礎	地歴公民 地歴公民 理科	地歴公民 理科基礎 理科基礎 理科	地歴公民 理科 理科

大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項

- 地歴において、「世界史 A」「日本史 A」「地理 A」は選択できません。
- 理科において、「地学基礎」「地学」は選択できません。
- ①または②(地歴公民から 2 科目選択)の場合、公民からの 2 科目選択はできません。
- 理科の選択方法について、③(理科基礎あり 2 科目と理科基礎なし 1 科目の選択)の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。
- 「外国語(英語)」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算して採用します。

※個別学力検査の「理科」は、「化学」「生物」の 2 科目から 1 科目の選択となります。出題範囲は、「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の全範囲とします。

3 入試科目「論説」の概要

論説の内容	課題文や資料（文章や図表等）を読み、設問に解答する。
「高校等での学習」の成果として重視する点	得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、課題を見出し、高校等での学習や自身の経験を資料等の内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。

昨年の「論説」の内容例 （一部を抜粋しています。）

〈テーマ〉

「わが国のインターネット利用の現状と消費の関係」

〈与えられる資料〉

資料1 図表A ネットショッピングの利用世帯の割合と1世帯あたりの消費額の推移を示したグラフ

図表B 個人消費額に占めるスマートフォンによる消費額の割合を示したグラフ

資料2 図表C 品目別のひと月あたりのネットショッピングの消費額とスマートフォンによる消費額、それらが個人消費額に占める割合を示したグラフ

資料3 シェアリングエコノミーのメリットに関する文章

【文章の概要】

シェアリングエコノミーはスマートフォンの普及等、ITの利活用環境の変化から生まれたサービスであり、我が国の経済の仕組みを変えつつある。資産の提供者である貸主は遊休資産の活用により収入を得ることができ、借主は所有することなく利用できるため、利用コストを低く抑えることができる。

資料4 シェアリングエコノミーの進展が経済に与える影響に関する文章

【文章の概要】

シェアリングエコノミーの進展が経済に与える影響を定量的に把握することは困難だが、定性的には「供給不足の解消による消費拡大」「潜在的需要が顕在化することによる消費拡大」「周辺ビジネスの拡大」という3種類が考えられる。

資料5 シェアリングエコノミーによるサービスの一例について述べられた文章

【文章の概要】

ある企業は、物件や空きスペースの貸主と利用希望者をマッチングし、仲介するWEBサービスを提供している。この企業では利用者と貸主の双方が安心して利用できる仕組みを整えており、トラブルを未然に防いでいる。今後は新たな商品の提供や、自治体との連携も視野に入れている。

資料6 図表D シェアリングサービスの認知度の国際比較に関する表

図表E シェアリングサービスを認知している人の中で利用した経験のある人の割合の国際比較に関する表

〈設問〉

問1 (1) 資料1の図表Aは、ネットショッピングの利用世帯の割合とネットショッピングの1世帯あたりの消費額の推移をあらわしている。図表Bは、個人消費額に占めるスマートフォンによる消費額の割合を示している。これらの図表から読み取ることができる日本のネットショッピングの消費傾向について、150字以内で述べなさい。

(2) 資料2の図表Cは、日本における品目別のひと月あたりのネットショッピングの消費額とスマートフォンによる消費額、それらが個人消費額に占める割合をあらわしている。この図表におけるファッションとゲームソフトの項目を比較して読み取れることを150字以内で述べなさい。

⇒ねらい：与えられた複数の資料をもとに科学的に読み解く力や、事象を論理的に分析し、考察する力、社会的に関心が寄せられている事象に対する主体的な関心の持ち方をみる。

問2 資料3～資料6をみて、次の設問(1)、(2)に答えなさい。

(1) シェアリングエコノミーをわかりやすく150字以内で説明しなさい。

(2) 日本におけるシェアリングエコノミーの現状について読み取れることを300字以内で要約しなさい。

⇒ねらい：与えられた文章から必要な事象や情報を抽出し、それらを関連付けて要約や比較をする力、共通する課題を抽出する力、論理的なわかりやすい文章で記述する力をみる。

問3 これまで示された資料をもとに、日本のシェアリングエコノミーを発展させようとする時に課題となることを三つ挙げなさい。さらに、あなたがシェアリングエコノミーを推進する立場になったと仮定します。先に挙げた課題の中から一つを選択し、その課題解決のための具体的な方策について述べなさい。あわせて400字以内で書きなさい。

⇒ねらい：与えられた資料から課題を見出し、これまでの学習や、経済社会の動向への理解、問題意識と関連付けながら、論理的に解決への方策を探索する力をみる。

論説のポイント

- ・1つのテーマに関する複数の資料（文章、グラフ、表等）について、それらを関連付けながら読み解くことができるようにしよう。
- ・課題になっていることは何か、自分ならその課題にどう対応するかを常に考えるようにしよう。その時に、自分の考えを補強するためにはどんなことを調べたらよいかも、あわせて考えてみよう。
- ・普段から、論理的でわかりやすい文章で表現できるように心がけよう。

4 一般選抜における主体性等の評価

一般選抜における主体性等の評価は、看護学群では、従来どおり面接で行います。

事業構想学群と食産業学群では、出願時に調査書と対応した5項目のチェックリストを設け、「活動実績報告書」として出願者に自己申告していただき、全出願者分を採点することとします。記載内容の根拠は、調査書にて確認し、その他の追加資料（eポートフォリオ等）を求めることはしません。

主体性等の評価方法

看護学群：面接（前期日程では2月26日、後期日程では3月13日に実施する）

事業構想学群：活動実績報告書（出願時に自己申告する）

食産業学群：活動実績報告書（出願時に自己申告する）

〈「活動実績報告書」の内容〉

出願時に、以下の5項目のチェックリストを設け、出願者に自己申告していただきます。

出願者は以下の項目に関して自らの取組状況を振り返り、該当するかどうかを自己申告していただきます。

- (1) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた
- (2) 部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組んできた
- (3) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた
- (4) その他の活動に主体的に取り組んできた
- (5) 高校で取得した資格、獲得した賞がある

※(1)には「総合的な学習の時間」等での探究活動を含みます。

記載内容の根拠の確認について

- ・調査書のいずれかの欄に1つでも該当する記述があれば、自己申告の根拠とします。
- ・調査書では「事実の記載があるかどうか」を根拠として確認します。記述の多寡は問いません。
- ・調査書が提出できない出願者については、別途「活動実績報告書」の様式を設定し、具体的な取り組みについての自由記述を求める予定です。

入学者選抜方法についてのQ & A

● 総合型選抜に関すること

Q 1 総合型選抜には、学校長の推薦書が不要となっていますが、高校等の卒業見込み者だけでなく、既に高校等を卒業した者でも出願できますか。

A 1 総合型選抜の出願資格は、学校推薦型選抜と異なり、必ずしも高校等の卒業見込み者であることを求めているわけではありません。令和3年度入試では平成10年4月2日以後に出生された方で、その他の要件を満たす方であれば、出願資格があります。

Q 2 調査書の評定はどのくらい必要ですか。

A 2 総合型選抜では、出願要件としての基準を設けていません。評定だけではなく、調査書の内容を総合的に評価します。（注：学校推薦型選抜の出願要件については、調査書の全体の評定平均値が4.0以上としています。）

Q 3 自己申告書（1ページ目）に記載できるのは、学習の成果だけですか。部活動等について記載しても評価されないのでしょうか。

A 3 学習成果（各教科の学習、ホームルーム活動、生徒会活動および学校行事での成果）を評価対象としています。部活動や校外での活動を除外するものではありませんが、「学習成果」と関連付けて記載してください。

Q 4 レクチャー①、レクチャー②の内容は志望する学群・学類に関連した内容が出るのですか。

A 4 全学類の受験者に対して同じ内容のレクチャーを行いますので、必ずしも志望する学群・学類に関連した内容ではありません。

Q 5 レクチャー②は、第1次選考のレクチャー①と関連する内容ですか

A 5 レクチャー②の内容は、レクチャー①のテーマを踏まえ、多様な視点を加えて発展させたものを予定しています。

Q 6 レクチャーレポート作成のためには、どのような対策が必要ですか。

A 6 高等学校等での授業の時に先生が話した内容についてメモをとり、自分で整理することがとてもよいトレーニングになります。

Q 7 総合型選抜で入学することのメリットは何ですか。

A 7 総合型選抜合格者は、入学時から学類が決定しているため、1年次から、各学類の2年次からの専門的な学びを見通した学修に取り組むことができます。

Q 8

学校推薦型選抜・一般選抜との併願はできますか。

A 8

本学の学校推薦型選抜・一般選抜にも出願することができます。ただし、総合型選抜に合格し、入学手続を済ませた後は、他の入試区分の入試を受けても合格者とはなりません。

●学校推薦型選抜に関すること

Q 9

総合型選抜・一般選抜との併願はできますか。

A 9

本学の総合型選抜・一般選抜にも出願することができます。ただし、学校推薦型選抜に合格し、入学手続を済ませた後は、他の入試区分の入試を受けても合格者とはなりません。なお、他の国公立大学の学校推薦型選抜とは併願できませんので、注意してください。

Q 10

大学入学共通テストの得点はどのように扱われますか。

A 10

本学が指定する教科・科目の大学入学共通テストの合計点は、出願書類の内容および面接の成績とともに、総合的な合否判定に利用します。

●一般選抜に関すること

Q 11

数学や理科の個別学力検査の出題範囲を教えてください。

A 11

事業構想学群と食産業学群で課される数学においては、「数学Ⅰ」「数学 A」「数学Ⅱ」「数学 B」の全範囲から出題します。ただし、「数学 A」は「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」の3項目の内容のうち2項目以上を、「数学 B」は「数列」「ベクトル」「確率分布と統計的な推測」の3項目の内容のうち2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答できるようにします。

また、食産業学群の個別学力検査において、理科は「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1科目の選択とし、いずれも全範囲からの出題とします。

令和 2 年度入学 入試結果

入試の単位	区分	学群	学類	募集人員	出願者数	第 1 次選考 (書類審査) 合格者数	第 2 次選考 受験者数	第 2 次選考 合格者数	実質競争倍率	入学者数
学類単位の 入試	AO 入試	看護学群	看護学類	8	67	24	24	9	7.4	9
		事業構想学群	事業プランニング学類	8	36	25	25	8	4.5	8
			地域創生学類	8	26	24	24	8	3.3	8
			価値創造デザイン学類	8	24	23	23	9	2.7	9
		食産業学群	食資源開発学類	8	11	11	11	10	1.1	10
			フードマネジメント学類	8	26	25	25	10	2.6	10

入試の単位	区分	学群	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争倍率	入学者数
学群単位の 入試	推薦入試	看護学群	24	63	60	30	2.0	30
		事業構想学群	40	92	77	44	1.8	44
		食産業学群	28	25	22	11	2.0	11
	一般選抜 (前期)	看護学群	48	146	116	56	2.1	54
		事業構想学群	100	332	278	127	2.2	124
		食産業学群	62	164	141	96	1.5	84
	一般選抜 (後期)	看護学群	10	138	41	10	4.1	9
		事業構想学群	20	246	84	25	3.4	17
		食産業学群	12	269	66	21	3.1	12

令和 2 年度出身校所在地別志願者数・入学者数

出身校 所在地	看護学群						事業構想学群						食産業学群					
	志願者数			入学者数			志願者数			入学者数			志願者数			入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北海道	1	1	2	0	0	0	5	4	9	1	2	3	6	6	12	0	1	1
青森県	1	16	17	0	3	3	8	22	30	2	9	11	2	19	21	1	8	9
岩手県	1	19	20	0	3	3	16	29	45	2	6	8	4	26	30	1	8	9
宮城県	31	250	281	5	69	74	283	247	530	74	78	152	97	144	241	27	44	71
秋田県	5	19	24	2	3	5	8	12	20	1	4	5	4	11	15	1	1	2
山形県	0	21	21	0	7	7	15	31	46	5	7	12	11	15	26	1	5	6
福島県	0	23	23	0	5	5	13	15	28	4	3	7	6	18	24	1	5	6
東北 6 県	38	348	386	7	90	97	343	356	699	88	107	195	124	233	357	32	71	103
関東	0	16	16	0	3	3	8	18	26	1	6	7	24	40	64	1	10	11
中部	1	12	13	0	3	3	8	11	19	1	3	4	22	26	48	4	7	11
近畿	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4	4	8	0	1	1
中国・四国	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	1	2	3	1	0	1
その他	0	2	2	0	0	0	6	8	14	1	1	2	4	2	6	2	1	3
合計	40	379	419	7	96	103	371	401	772	92	120	212	185	315	500	40	91	131

入学者選抜に関する問い合わせは

宮城大学 アドミッションセンター

大和キャンパス／〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

TEL.022-377-8333 FAX.022-377-8282

宮城大学ウェブサイト <https://www.myu.ac.jp/>